

『しんききゅう』

作・文月奈緒子

登場人物 姉  
妹 母

介護ベッドのある自宅の一室。

ベッドの上には年老いた女（母）が寝ている。

その母の腕を椅子に座った中年の女（妹）がバジャマの上からさするようにマッサージをしている。

同じような中年の女（姉）が大きめの封筒を手に部屋に入ってくる。

姉 見つかった！

妹 見つかった？

姉 （封筒を見せて） 見積り！

妹 見積りかあ

姉 何よ。探せって言ったじゃない。見積り、通帳、遺影

妹 言ったけどさ。正直、一番低いよね。優先度。よく考えたら、葬儀（と言いかけて母のマッサージを止めると、姉を引つ張ってベッドから離れ、小声で）葬儀屋さんにもう一度頼めば

姉 探せって言ったのに

妹 しかも（封筒から紙の束を取り出して眺めながら）三年前の見積もりだし

姉 せっかく見つけたのに

妹 （ステープラーで綴じられた数枚の紙を見て）お姉ちゃん！グツジョブ！！

姉 嫌みか

妹 （紙を見せて）これこれ

姉 え？これって連絡先？葬式の？

妹 お姉ちゃん！グツジョブ！！

姉 こんなのあるって知ってたら、携帯なんか見なかった！あー！あー！あー！悪い事したー！

妹 知らなかったんだもん、仕方ないよ。葬式の連絡。お母さんの携帯見るしかないし。

お父さんの時だって

姉 お父さんの時はそれで良かったよ。きちんと本名で登録してたし。でもお母さんは大バカとか丸ハゲとか

妹 丸ハゲはヒトシおじちゃんってのはすぐにわかったけどね。それからユキコおばちゃんのでしゃばり（笑う）

姉 笑い事じゃないって。お母さん、知られたくなかったと思う

妹 だから仕方ないじゃん。とにかく助かった。親戚ならともかく、友人関係なんか見当もつかないし。それに（笑いながら）「大バカさんですか？」って電話するわけにも

姉 あんたねえ

妹 (無視して) ね、ね、大バカって誰だと思う？私、電話番号と一緒にメモったんだ。わかんなかった人(スマホを取り出して) 大バカ、うさちゃん、しのっち、カップ

姉 カップもひどいよね

妹 うすらバカもそうとうだよ

姉 自分の名前が本名で良かった

妹 しかもハートマーク付き

姉 あんたは星マークね

妹 ハートの方が上っぽくない？

姉 上も下もないよ。テキストテキスト。お母さんってメールでも謎のマークをつけるじゃない。「牛乳買って来て」の後に米印とか。なんか目についた記号を絵文字感覚で使っているみたいで

妹 メールはそうでも

姉 ただ電話帳は私とあんただけだったから特別感はあるよね

妹 まあね(スマホとリストを見比べて) …ないなあ。大バカ…じゃあ、カップは…あ(リストを指差して) うすらバカ発見！

姉 え？

妹 知ってるの？

姉 年に一度の旅行仲間

妹 ああ。あれって確か、お姉ちゃんが中学の時のママ友

姉 ママ友ってか、PTAの役員仲間ね。その時のメンバーと気が合うとかで、卒業してからも付き合いが続いてて…なのにならうすらバカ

妹 付き合いも長くなればうすらバカも出てくるよ。お姉ちゃんが中学の時でしょ。だって三十三年

姉 三十年！

妹 なに

姉 なんか、自分の年齢がリアルに

妹 お姉ちゃんってそういうところあるよね

姉 そういうところ？

妹 (無視してリストを指しながら) って事はこれは旅行仲間のグループね。これは？

姉 フラダンスサークル(リストを指して) こっちはパート仲間。学生時代の友人。ご近所さん。家庭菜園。で、親戚

妹 さすが！

姉 ザーっつと一緒に暮らしてるからね

妹 私だっただらうっつと一緒に暮らしても無理。休みの日なんて家にいないと思うし

姉 確かに。あんた、ほとんど家にいなかったもんね。友達と遊んでばっかで

妹 たまには家にいなさいって言われたけど、家にいたってさ

姉 つまんないよね。私と違って友達が多かったから

妹 まあね

姉 そのへんはお母さん似だよ

妹 お母さんってそんなに友達いた？

姉 (リストをひらひらさせて) いるでしょ

妹 じゃなくて昔。ほとんど家にいたじゃない  
姉 家にいたけどしょっちゅう友達と長電話。お父さんがアレだったから、家から出られないんだよね。年に一度の旅行も毎回拝み倒して  
妹 あれねえ。私、高校生の時に頭にきて「年に一度くらい好きにさせたら！」って言うたら、お母さん「お父さんになって事言うの！」って  
姉 ああでも言わないと收拾がつかないしょ。頑固な人だったから  
妹 にしたってさあ  
姉 その分、お父さんが死んでからは旅行にもバンバン  
妹 お姉ちゃんともね  
姉 私は暇だから  
妹 暇でも私は無理。お母さんとは  
姉 あんたは結婚してるしね。独身だとけっこういるよ。お母さんと旅行  
妹 そう？私の周りにはいないよ。それからお母さんの為に介護休暇まで取った人も  
姉 介護休暇ってか、在宅勤務つぽい感じ？パソコンさえあればなんとかなる仕事だし  
妹 ボーっとしているように見えてもバリバリの研究職  
姉 なによ  
妹 普通ならやんわりと解雇だよ。頭がいい人は違うねえ  
姉 私は勉強しか取り柄がないから。それに介護休暇をもらえたところであんたの助けがなかったら無理だった。ご飯の用意だけで一日が終わっちゃう  
妹 私は家事くらいしか取り柄がないから  
姉 それが一番だって。子どもいるのに申し訳ない  
妹 何言ってるの？自分の親だし、下の子だってもう中学生  
姉 あれ？マコちゃんって確か来年受験？  
妹 そう。でもあの子は頭がいいから心配してないの。お母さんもお姉ちゃん似だって  
姉 そんなこと  
妹 それにかえて助かったよ。介護を理由に役員を辞める事ができて。私、上の子どもが幼稚園の頃からずーっと役員だったじゃない？  
姉 あんたははっきりしてるから  
妹 だから可愛げがないってよく言われた  
姉 誰に？  
妹 （少し考えて）色んな人？  
姉 気にしない気にしない  
妹 してないしてない。（リストを見て数える）全部で七グループか  
姉 こんなもんか  
妹 こんなもんでしょ。私だって、学生時代の友人、ママ友、元会社の同僚、それから  
姉 親戚が大変だね  
妹 なんで  
姉 私よりも多い  
妹 ダンナの分ね  
姉 それと子ども達が結婚すれば  
妹 ええ。娘はともかく息子はいやかも  
姉 意外。息子を手放したくないタイプなんだ

妹 じゃなくて、姑にはなりたくないタイプ  
姉 なんだそれ  
妹 だっていいイメージないんだもん  
姉 何かあるの？あんとんとこ？  
妹 ないない。でもおばあちゃんがああだったから  
姉 ああ。お母さん、よく耐えたよね  
妹 なのいきちんと介護してさ  
姉 偉いよね  
妹 私なら絶対に無理  
姉 でも時々さ(妹の腕をとって)さっきのあんとみたいにマッサージをしている時に「あ、手が滑った！」って

姉、妹の頬を叩くふりをする。

妹 ぶってたの？  
姉 たまにね。軽く  
妹 私だったらグーで  
姉 私もかな  
妹 ええ  
姉 だってひどかったじゃない。だから本当に偉いと思うよ。本格的に寝たきりになったからはやんなくなつたし。こんなに皮膚がカサカサになっちゃ、手も滑らないって  
妹 それもなんかねえ  
姉 なんかねえ  
妹 でもなんかお母さんらしい。滑ったふりして叩くとか。電話帳もそうだけどさ。ちょっと変わってるとこあるじゃん  
姉 確かに  
妹 偉い事は偉いけど。おばあちゃんだけじゃなくて、おじいちゃん。それから向こうのおじいちゃんとおばあちゃん。それもたった一人で  
姉 私もう少し手伝うんだった  
妹 手伝うのはお父さんや叔母さんでしょ  
姉 でもお母さん達の世代は長男の嫁が全部やるのが当たり前で  
妹 だけど叔父さんとは何もしなかったじゃない  
姉 向こうは同居じゃないし  
妹 だからってさ。しかも文句ばっかり言うし！あー、私、あの人、呼びたくない  
姉 でも親戚なんだから  
妹 親戚って選べないから最悪  
姉 あんとんとこは本当に大丈夫なの？こっちに來ている事、何か言われてない？お母さんみたい  
妹 ないない。今の時代。介護は実子ですから  
姉 そうだけど  
妹 それに我が家は呑み会もオーケー。お母さんには「主婦が夜に出歩くなんで！」って怒られたけど

姉 向こうのお母さんは？  
妹 向こうの方が理解あるかも  
姉 へえ  
妹 内心はわかんないけどね  
姉 ちよっと  
妹 それはお互い様って事で。しよせんは他人だし  
姉 ちよっとちよっと  
妹 で、結局は同じかな  
姉 同じ？  
妹 グループ。私もお母さんと同じかも  
姉 あんたはもつと多いと思うよ。私なんか親戚と会社と学生時代の友人程度だし…なんか家族葬で充分かも  
妹 お姉ちゃんの家族って  
姉 …あんただけか  
妹 ダンナとミカとマコトもいるけど  
姉 …習い事でもして友達増やそうかな  
妹 そこは結婚じゃないの？  
姉 今更だよ。それに習い事なら老後の生きがいにもなるし  
妹 まあ、何かを始めるのは賛成だけだね。お姉ちゃんって人見知りなところがあるから  
姉 人見知りってか、大勢の前だと緊張する…って、ひよっとして私が喪主？  
妹 何を今更  
姉 無理無理無理。緊張すると過呼吸の発作が  
妹 私もついでだから大丈夫  
姉 大丈夫って言われると余計に緊張するんだってば  
妹 じゃあ、全然大丈夫じゃない  
姉 なんだよ、それ（改めてリストに目を通して）やっぱり無理無理無理無理  
妹 大丈夫…じゃないけど大丈夫。この人たちが全員来るわけないでしょ。せいぜい八割プラスαって感じ？  
姉 αって  
妹 人から聞いてくる人  
姉 ああ  
妹 大バカとかカッパとか  
姉 十人くらい？  
妹 もつとみといた方が  
姉 無理無理無理無理  
妹 あれ？  
姉 まだなんかあるの！  
妹 （見積書を見て）計算が合わない  
姉 計算？  
妹 参列者と会葬御礼品の数。って事は（スマホを使って計算をし、その結果を姉に見せる）  
姉 実際はこれくらいかも  
妹 マジか

妹 こうなったら何が何でも通帳を探さないと。それから遺影  
姉 通帳、遺影、通帳、遺影、通帳、遺影、遺影、イエイ：イエーイ！  
妹 お姉ちゃん  
姉 だって、なんか、もう…（ベッドの方を見て）やっぱり聞いておけば良かったね  
妹 それ考えてもどうしようもないじゃん。だいたい難しいよ、そういうタイミング。元  
気な時に聞くのはなんとなく縁起でもないし、弱ってからはガチで縁起でもない  
姉 結局、いつでも縁起でもないか  
妹 しかしあれだけ用意してもさ、場所を教えなかったのがお母さんらしいというか。お  
母さんってやる時はガーーーーっと暴走気味。でも結局は疲れちゃって、あとはテキスト  
姉 まあね  
妹 特に今回はすごかったよね。病気がわかった途端、遺影を用意するわ、葬祭会館に見  
学に行くわ  
姉 だってお父さんの時はあんなんだったから  
妹 だからってさ。遺影まで用意する？見学の時、なんか持って来てるなと思ったら、自  
分の遺影なんかも。「このサイズで大丈夫ですか？」って取り出した時の葬儀屋さんの  
顔！  
姉 ちよつとひいてたね  
妹 完全にひいてたよ。ほんと、ああいうところが変わってるって  
姉 それは仕方ないんだって。あんたが心配すると思ってるけど、お母さん、葬式  
の後、ああすれば良かったこうすれば良かったって  
妹 まあ、おばあちゃん達の時とは違って突然だったし  
姉 それで済まされるレベルじゃなかったじゃん。あの葬式。お母さん、ちよつと鬱つば  
くなつてヤバかったんだよ。遺影を見る度に涙ぐんで  
妹 そんなにお父さんの事  
姉 じゃなくて遺影！あの遺影、ひどくない？  
妹 ：確かに。今どき、紋付き袴の合成はなかったかも  
姉 それ以前の問題だって。写真をハサミで切り取って貼りましたって感じの、バリバリ  
の合成感  
妹 私は司会の方が気になったけど。感情入れすぎて話すから、演歌の前ふりみたいだつ  
た。それから通夜振る舞いの料理  
姉 乾ききつた助六ね  
妹 サンドイッチもパッサパサ  
姉 大皿料理はどれも油っぽいし  
妹 そしてビール！酒飲みには許せない常温のビール！  
姉 なのに熱すぎて持てない熱燗  
妹 ：なんであそこにしたんだっけ？  
姉 ユキコおばちゃんの紹介。義理のお兄さんがあそこでやったって  
妹 でも一番文句を言ったのって、おばちゃんじゃない！  
姉 さすがにお母さんも怒ってしばらく口を利かなかったのよ。自分の葬式の時には絶対  
に言う事を聞くなつて  
妹 でもあの人、親戚関係のあれこれにやたらと口出すじゃん  
姉 その時は「母の遺言です」って通せって

妹 通せるかね

姉 それでも色々言ってきたら、私、得意の過呼吸になるから。あの人、そういうのに弱いし

妹 その時は任せるよ。まあ、そう考えると暴走気味の用意も仕方がないか

妹、ベッドに行くとき母の手を取ってさすり始める。

姉 (ベッドに近寄って) 少し前まではさ、そうやってマッサージすると気持ちがいいって言ってたよね。

妹 もう目も開けないし：寝ているだけなのか、もう意識がないのか

姉 ないように見えても、音は聞こえている事が多いって。看護師さんが

妹 (母の耳元で) お母さん。聞こえてる？

姉 (布団の上から脚をさすって) 脚もこんなに細くなって：お父さんの所まで歩いていけるのかな

妹 歩けても、行きたくないかもよ。

姉 かもね。：関節もカチコチ

妹 皮膚もカサカサ。これじゃ、手も滑らない

姉 何言ってるの

二人、しばらく母のマッサージをする。

妹 お父さんの時はあつと言う間だったから現実感がなかったけど、これはこれで現実感がないね

姉 病院のベッドだったらしっくりくるのかな

妹 どうなんだろう

姉 (マッサージを止めると妹の手を取りベッドから離れて) 確認なんだけどさ。容態がおかしくなっても救急車を呼んじやダメなんだよね

妹 そう。それが在宅のルール。まだなんとかなりそうだったら訪問看護師に電話。ダメっぽかったら訪問医に電話

姉 でもそれって素人でもわかると思う？なんとかなりそうとか、ダメっぽいとか

妹 そこなんだよね

姉 でしょう？それに私、パニックなって救急車を呼ぶかも

妹 お姉ちゃんは呼ぶ前に過呼吸になりそう

姉、なんとなく呼吸が荒くなる。

妹 ちよつとちよつと大丈夫？じゃなくて大丈夫じゃない？

姉 大丈夫

妹 良かった。とにかく。今は容態の心配よりも通帳だよ

姉 それに遺影

妹 遺影は葬儀社に任せても

姉 ダメだって。お父さんの事があってから、自分の遺影だけはって、きちんと用意した

んだから  
妹 その辺は大丈夫だよ。どこに頼んだってあんなに酷い合成には絶対にならない  
姉 それはそうだけど。あれからさ、いろんな葬式を見て思ったんだって。自分の葬式で  
できる事って遺影を用意するくらい。だったら最高の笑顔で参列者を迎えようって  
妹 確かに笑ってる写真だった  
姉 いい笑顔だったでしょ？

母がゆっくりと起き上がる。

しかし二人に驚く様子はない。

母は大きく伸びをすると、ベッドから下りてストレッチのような動作を始める。

妹 まあね。でもさ。まずは通帳

姉 それは銀行に行つて、再発行を頼もう

妹 本人じゃないとダメだよ

姉 事情を話せば

妹 今の銀行は厳しいって！私、ダンナ名義の定期の解約に行ったら、本人に電話確認だ  
なんだって

姉、ベッドを見る。

母、ストレッチを止めて、首を横に振る。

姉 絶対に無理だよ：そうだ！銀行から電話が行ったら、あんたがお母さんのふりして  
妹 犯罪じゃん！

母、「犯罪」の単語に驚き、あわてて姉妹の元に行く。

姉 だって

妹 だったら私が銀行に行くから、お姉ちゃんが電話に出てよ

姉 犯罪じゃん！

妹 でしょ？

姉 再発行は無理か。

妹 死んだら相続人って事で再発行でもなんでも堂々とできるけどね

姉 葬式に間に合う？

妹 間に合わない

姉 私、立て替える。さっきの金額くらいなら

妹 でももつといくかもよ。三年前の見積りだし

姉 三年でそんなに上がる？

妹 わかんないけどさ（見積書を見ながら）少しケチれば、楽に立て替えられるかも

姉 ケチったらお母さんが怒るよ！

母 （頷く）

妹 ケチるって言っても、御礼品。煎茶を紅茶に

姉 御礼品はダメ！それだったら（見積書を見ながら）通夜振る舞いのビール。エビスじ



やなくて一番搾り  
母 (なるほどと言う感じで頷く)  
妹 えー！  
姉 冷えてればいいでしょ  
妹 お姉ちゃんは呑まないから  
姉 あんたは呑みすぎなの。お母さんも心配してたじゃない  
母 (頷く)  
妹 普通だよ。二人とも呑まないからさ。だいたいお母さんは私に厳しいし  
姉 そんなことないでしょ  
妹 とにかく！エビスは絶対！！  
姉 ……わかったよ。  
妹 (見積書を見ながら) 御礼品をケチれないなら…お寺さん  
母 お寺さんこそケチれないでしょ  
姉 (激しく頷く)  
妹 じゃなくて葬儀屋の見積りだから、お寺さんに払うお金が入ってない。  
姉 ああ。拜んでもらう  
妹 それもそうだけど、戒名料  
姉 戒名料！  
妹 お父さんの時はいくら包んだ？  
母 (指で数字を作る)  
姉 わかんない。喪主はお母さんだったし  
妹 戒名にも位があるからなあ  
姉 けっこう高い位だったってお母さんが喜んでた  
母 (嬉しそうに頷く)  
妹 って事はお母さんもそれなりにしないと  
母 (考えるしぐさ)  
姉 普通、どのくらい？  
妹 普通って、宗派によっても違うし、お寺によっても違うし  
母 (指で数字を作る)  
姉 ……お気持ちってヤツ？  
妹 そう。お気持ちってヤツ。  
姉 ……私、そういう曖昧なのって苦手。理数系だし  
妹 お姉ちゃん！  
姉 曖昧なのって、なんか、こう、怖い。お気持ち、怖い。怖すぎる  
姉、息遣いが荒くなる。  
妹と母、姉の背中をさする。

姉、次第に落ち着く。

妹 落ち着いた？  
姉 今からこんなんで喪主なんて  
母 (姉の耳元で何かをささやく)  
姉 …アルバム  
妹 は？  
姉 通帳。アルバムに挟んだ…見た…気がする  
妹 何のアルバム？  
姉 さあ？  
妹 さあ…、家の中に何冊あると思ってるの？  
姉 だよねだよね

姉、再び過呼吸気味になる。  
母、姉の背中をさすりながら、また耳元で何かをささやく。

姉 …成人式？  
妹 どっちの？  
姉 どっちって  
妹 …たぶんお姉ちゃんだ

妹、部屋を出ると、通帳、キャッシュカードを持って戻ってくる。

妹 やっぱりお姉ちゃんの方だった。さすがハートマーク。愛されてるね  
姉 なに、それ。お母さんはテキストに隠したんだって

母、再びストレッチを始める。

妹 (キャッシュカードを手を取って) これ、借りるね。明日から五十万ずつ下して、お姉ちゃんの口座に移すから  
姉 なんで？  
妹 死んだら口座が凍結されるでしょ。だから今のうちに  
姉 だったら窓口で一気に下ろしたら？印鑑はあるし  
妹 窓口で大金を下すのって大変なんだから。何に使うか聞かれたり、場合によっては本人確認とか  
姉 また、そこ？厳しすぎない？  
妹 今は色々あるから。でもキャッシュカードなら一日五十万までオーケー。もちろん本人確認なし。暗証番号はお母さんの誕生日だったよね？  
姉 ……  
妹 違うの？  
姉 …ごめん。私、変えさせた。すぐにわかるから危ないって  
妹 まあ、確かに。で、新しい番号は？  
姉 ……

妹 知らない？

姉 ごめん！本当にごめん！なんで私って、こう、もう、本当に

姉、息遣いが荒くなる。

母、ストレッチを止めて、姉のところに行く。

妹 落ち着いて。深呼吸深呼吸。はい。短く息を吸って。ながーく吐いて。はい。短く息を吸って。ながーく吐いて

母、姉の背中をさすりながら、耳元で何かをささやく。

姉 お父さん？

妹 お父さん？

姉 暗証番号。思い出した？いや？え、でも思い出した？

妹 だけとお父さんって

姉 お父さん

妹 …〇一〇三。おーとうさん

母 (首を横に振る)

姉 なんとなく違うと思う

妹 だったらお父さんの誕生日とか

母 (頷く)

姉 それだ！

妹 どっちにしても誕生日か

母、頷いて、ストレッチを再開する。

妹 それにしてもお姉ちゃんって酸欠になると頭が冴えるんじゃない？

姉 まさか…でも…そうなのかな？

妹 その勢いで遺影も

姉 なんか今、やり切った感があるので過呼吸には

妹 そうか。しかし(手で大きく長方形を描いて) こんぐらいの大きさだからすぐにみつきりそうなんだけど

姉 飾ったままにすればよかったね

妹 生きてるうちから飾ってどうすんの。しかも仏間に。見た時、心臓止まるかと思った

よ。お父さんの隣に並んでるんだもん

姉 あれはお父さんが寂しいだろうって

妹 だからってさ。ユキコおばちゃんなんて悲鳴上げたじゃない。外して正解。てか、普通は生きてるうちに飾らない

姉 まあ、そうだけど。あれからさ、お父さんの遺影がなんとなく寂しく見えるって、お母さん

妹 合成バリバリの遺影が？

姉 …色々とあったけど仲が良かったよね。恋愛結婚だったし

妹 恋愛結婚ってか  
姉 ね。お母さんがフラダンスを始めた理由で知ってる？  
妹 健康の為でしょ  
姉 表向きはね。本当はウエディングドレス  
妹 ウエディングドレス？  
姉 お母さん、結婚式を挙げなかったから、ウエディングドレスに対する憧れが  
妹 それ、本当に迷惑だった。私の結婚式の時にお金は出すからお色直しは三回とか  
姉 確かにあの時も暴走気味だった  
妹 でしょう？でもそこからどうしてフラダンスに  
姉 フラダンスって頭に綺麗なお花を載せるじゃない。綺麗な服を着て、綺麗なものを頭  
に載せるのってウエディングドレスかフラダンスくらいだって  
妹 そう？綺麗な服を着て、綺麗なものを頭に載せるのなんて他にも  
姉 ある？  
妹 …ないかも。でも全然違うよ  
姉 だけどお母さんは満足してた。発表会の度に衣装を新調して  
妹 そこまで憧れがあるんだったらさ、結婚式は無理でも写真くらいは後で撮れば良かったのに  
姉 おばあちゃんが許すはずないでしょ  
妹 それもどうかって話。結婚式ができなかったのだから、今で言う出来婚だったからで  
しょ。半分はお父さんの責任じゃない。なのにふしだらな嫁だとかなんとかってねちねち  
と  
姉 まあ、当時は今と違ってあんまりいなかったから  
妹 だからってふしだらはないじゃん。だから私「妊娠させたのはあんたの息子でしょ！」  
って  
姉 あー！あれも高校生の時だっけ？すっきりしたなあ、あん時。  
妹 でもお母さんには怒られた  
姉 それも立場上だって。そう言わないと収拾が  
妹 そう？  
姉 感謝しているって（ベッドに向かって）ね？  
母 （大きく頷く）  
妹 だったらいいけどね  
姉 …私がいなくてもさ。お母さんとお父さんは結婚したかな？  
妹 は？  
姉 時々、思うんだよね。私がお母さんの人生をダメにしたんじゃないかって  
母 （大きく首を横に振る）  
妹 お姉ちゃんの事がなくてもいずれは結婚してたよ。さっき言ってたじゃない。けっこ  
う仲良しだったって  
姉 そうだけど  
妹 それにお姉ちゃんは自慢の娘だったでしょ。成績はいつもトップクラス  
姉 だから勉強だけだって。私はあんたと違って孫の顔も見せられなかったし…やっぱ習  
おう。フラダンス。私もウエディングドレスは着られそうもないから  
妹 お姉ちゃん！

姉 それに楽しいんだよ。私もふざけて時々踊ってたんだ。お母さんと

姉、フラダンスの真似をする。  
母も一緒に踊りだす。

妹 楽しそう

姉 でしょ

妹 私もやりたかった

姉 じゃ、一緒にやろうよ

妹 そうじゃなくて

姉 衣装もいっぱいあるから。(妹の手を取り)一緒にやろう!

妹 (姉の手を振り払って)いいって!

姉と母は踊るのを止める。

妹 そんなことよりも遺影でしょ。最後の重大ミッション、写真をお願いしたヒロユキさんの画像データに鍵さえかかってなければ

姉 何枚でも印刷し直せたのにね

妹 一枚でいいよ。遺影なんだから

姉 なんかさ、画像データだけじゃなくてスマホにも鍵がかかってたらしいよ

妹 マジか!

姉 ヒロユキさんが亡くなった時、遺影用の画像を探しまくったらしいのよね。でも本人のは鍵ががっちり

妹 うわあ

姉 奥さん。複雑そうだった

妹 そりゃあねえ

姉 なんかねえ

妹 まあ。実際問題、大した事はないと思うよ。ほとんどの場合。せいぜいお母さんの電話帳程度

姉 お父さんの謎の女は?

妹 あれはちよつとヤバかったかも

母 (頷く)

妹 あの後、私、自分の写真データ整理したもん

姉 あんたもなんかあるの?

妹 ないない。けどさ。後から見直すと誤解されそうなのってない?友達のダンナとのツーショット写真とか。

姉 なにそれ?

妹 友達があざけて撮ったヤツ

姉 本当?

妹 ほら、そうなる。でも少し考えたら自撮りでもない限り、ツーショットなら誰かが撮ったって事でしょ

姉 って事は自撮りだったお父さんの写真はかなりヤバイ

母（激しく頷く）  
妹　でもあの年齢で自撮りでしょ。誰かがその場で教えて、ノリで撮ってみたのかもよ。  
実際、自撮りはたった一枚だけだったし  
姉　名探偵！  
母　（なるほどといった感じで頷く）  
妹　本当のところはわからないけどね。だから疑われそうな写真はソッコー削除。この世  
から綺麗に消滅  
姉　でも記憶は残るよね  
妹　記憶って  
姉　私さ。おばあちゃんの事。実は大っ嫌いだったの  
妹　みんなそうだよ  
姉　だからおばあちゃんが映っている画像。消したり、編集したり  
妹　やだ。お姉ちゃんってけっこう黒い  
姉　いくら消してもさ…むしろ消せば消すほど記憶が鮮明になって。おばあちゃんに聞いて  
おけば良かったって事が出てくるんだよね  
妹　何を  
姉　本当はお母さんの事をどう思ってたか  
妹　嫌ってたでしょ  
姉　でも婦人会の旅行に行くと、お母さんに一番いいお土産を買ってきてたし  
妹　あれは周りに対するいい姑アピールでしょ  
姉　そうだとは思うけど…でもはつきりさせたかった  
妹　はつきりさせてどうすんの？  
姉　納得できるかもしれないし、諦めがつくかもしれないし  
妹　…お母さんはさ。納得できて諦めもついたんじゃないの？マッサージの手が滑らなくな  
ったんだし  
母　（考え込む）  
姉　…死んじやったら、すべてが無効になるといいのにね  
妹　まあね。  
姉　そうだ。私のパスワード教えておくれ。パソコンの中に遺影用の写真がピックアップ  
してあるんだ  
妹　お姉ちゃんの  
姉　決まってるでしょう  
妹　なんなの。うちの家族  
姉　だってお母さんの遺影に対するこだわりをみると。ヒロユキさんの葬式の時だって、  
写真が趣味なのに遺影がこれかって  
妹　葬儀の良し悪しが遺影  
姉　そうよ。だから見つからなかったら、お母さんに恨まれるかも  
妹　あー、確実に恨まれるね  
母　（ふざけて幽霊のポーズ）  
姉　どうして私は外せって  
妹　それは仕方がないって

姉、過呼吸気味になる。

妹 （少し嬉しそうに）お姉ちゃん！

母、姉の背中をさすりながら、耳元で何かをささやく。

姉 あなたの部屋だ

妹 さんさん探しました

姉 でも

妹 それにあの部屋にあるのはウエディングドレスを着た私の写真だけ

姉 でもさ

妹 だいたいひどいと思わない？ウエディングドレス姿の写真を飾りたいっていうから、

額に入れて贈ったのに、私の部屋に飾るんだもん

姉 他に飾るところって仏間くらいだし

妹 リビングだってあるじゃない

姉 あそこだと色があせるって

妹 だからってさ、ゴミ箱代わりの部屋に

姉 ゴミ箱って。あの部屋はお母さんの宝箱みたいな

妹 ゴミ箱が言い過ぎなら、納戸だよ、納戸

姉 納戸代わりでも区別はしてたよ。おばあちゃん達の部屋には使わなくなった食器とか

着なくなった服で、あなたの部屋にはフラダンスの衣装とか

母 （頷く）

妹 さすがハートマーク

姉 なにそれ

妹 そういう優等生的なところ、お母さんが好きだったんだよね

姉 だったらあなたは希望の星でしょ

妹 なにそれ

姉 私と違って、結婚して、孫も産んで。私なんか何も無いから、お母さんが嫌味を

妹 はつきり言われたの？

姉 露骨じゃないけど

妹 私なんかはつきり言われたよ。お姉ちゃんと違って可愛げがないって

母、うろたえる。

姉 それは昔の話でしょ。あなたは少し反抗的だったから

妹 反抗的にもなるよ。頭が悪いし

姉 すぐにそういう

妹 言われてたからね、さんざん

姉 あの頃はおばあちゃん達のことでお母さんもイライラしてたし

妹 だからって私にだけ当たる事ないでしょ

姉 私だって大変だったんだよ。色んな愚痴をずっと聞かされて

妹 だったら聞かなければいいじゃん

姉 聞いてあげないとかわいそうでしょう  
妹 さすがハートマーク  
姉 いいかげんにして！

長い沈黙

姉 …ごめん。大声出して  
妹 …私も…ちよつと疲れちゃって  
姉 …そろそろさ、疲れが出てくる頃だよね…お互いに  
妹 それに…なんかさ…自分で言い出したのになんだけど、この歳になると時効だよね。  
色々と  
姉 …確かに  
妹 マッサージしても手は滑らないし  
姉 …そこか  
妹 お姉ちゃんもでしょ  
姉 滑らない滑らない

母、うなだれてベッドに戻り、腰を下ろす。

妹 だいたい私も子どもに対してそういうところあるし  
姉 みんな、そうなんじゃないの  
妹 だから仕方がないって思う時もあるけど  
姉 イラツとする時もあるよね…時効かあ  
妹 死んだら無効ね  
姉 縁起でもない  
妹 それに言っちゃ悪いけど、深く考える人でもなかったし。でなかったらロックなしで  
電話帳にさ。あんな登録  
姉 だけどそういう人だったから耐えられたのかもね。おばあちゃんに  
妹 だいたいおばあちゃんも深く考える人じゃなかったよね  
姉 けっこう色々と考えてたよ  
妹 でも考えが単純じゃない。だからいじめ方も悪口もストレートでシンプル  
姉 確かに  
妹 単純な分、楽かも  
姉 …あんたは本当に大丈夫だよ  
妹 …なにが  
姉 …むこうのお母さんと  
妹 大丈夫大丈夫。私はしっかりしているから  
姉 だね  
妹 …そこはツッコむとこでしょ。  
姉 …そっか

妹、ベッドに近寄って母を見る。



母、立ち上がり、妹の耳元に何かをささやく。

妹 私の部屋だ

姉 でもさんさん探したし

妹 ちよっと見てくる。なんかあるような気がする。絶対にある…ような

妹 部屋を出ていく。

姉、ベッドに近寄って、母のいないベッドを見る。

姉 …こんなになっちゃ、手も滑んないわ

妹、写真の額を持って戻ってくる。

ただその中に写真はなく、額だけの状態だ。

妹 あったよあったよ

姉 はや！

妹 どこにあったと思う？

姉 フラダンスの衣装の影とか

妹 そんなところはさんさん探しました

姉 じゃあ、どこよ

妹 私の写真の後ろ。横から見たら重ねて飾ってあった

姉 よく見つけたね

妹 なんかピンと来たんだよね。私はケンカして頭に血が上ると冴えるのかも

姉 だからっもうケンカはいやだよ。

妹 する必要ないし。見つかったんだから。ほら。遺影、遺影、遺影

姉妹 イエーイ！

三人でハイタッチ。

妹、額を母の顔に向ける。

母、額の中で最高の笑顔を見せる。

姉 これだよこれ

妹（額を下して）しかし通帳はお姉ちゃんの成人式のアルバム。遺影は私のウエディングドレスの写真。お母さんにしてはけっこう考えたね

姉 何が

妹 どれも私たちの一番きれいな時の写真じゃない

姉 え？私のピークは成人式？

母（頷く）

姉 それってひどくない？

妹 とにかく、これで一安心

母、ストレッチを開始する。

妹 あとはアレだよ。なんとかかなりそうか、ダメっぽいとかの見極めかた  
姉 それねえ。病院だったらさ、こう、モニターみたいなのを色々つけて、そろそろだつてわかるわけでしょ。でも、在宅だと何もないから、いつの間にか死んでるって事もあるよ  
姉 うん。こうやって話している時に振り替えると

姉妹、恐る恐るベッドを見る。  
元気にストレッチをしている母。

妹 生きてる生きてる  
姉 なんかいつもより顔色もいいみたい  
妹 亡くなる前に一瞬だけ元気になる人もいるらしいよ  
姉 やめてって  
妹 あと、怪談なんかでさ。死んだ人が訪ねてくるやつがあるじゃない  
姉 訪ねてくるって、ここにいるのに  
妹 だから私の家。そしたら急いで家に行くから  
姉 でもその時はもう死んでんだよ  
妹 そうか  
姉 お願いだから、私一人の時はやめて欲しいな  
妹 私だつて一緒に看取りたいけど  
姉 ：おばあちゃんの時、お母さんが言ってたけど、死ぬ間際の人って顎が上がるんだつて  
妹 顎？？  
姉 （顎を上げて）こんな感じ？

姉、何度か顎を上げてみる。まるで深呼吸をしているようだ。  
妹と母はそれを見る。

妹 おばあちゃんが亡くなる前って、確かにそんな感じだったかも  
姉 でしょ  
妹 顎か  
姉 顎だよ  
妹 （何度かやってみて）なんか深呼吸しているみたい  
姉 確かに  
妹 深呼吸なんて久しぶり。子どもの付き添いで夏休みのラジオ体操  
姉 まだあるの？  
妹 今は一週間くらいでおしまいだけど  
姉 でもまだあるんだ  
妹 あるよ（ラジオ体操のポーズで）大きく息を吸って――  
姉 懐かしい  
妹 吐いて――

姉 大きく息を吸って——  
妹 吐いて——  
姉 なんか過呼吸の発作が  
妹 ちよつとちよつと  
姉 : ラジオ体操で思い出した。あんたは初日と最後にしか来なかった  
妹 早く起きるのはめんどくさいけど、最後の日はアイスがもらえるし  
姉 初日は  
妹 今日から自由だつてワクワク感  
姉 ワクワク感ねえ

妹、ラジオ体操の歌を歌う。

姉 サボってばっかなのに歌えるんだ  
妹 ワクワク感で歌える

姉も一緒に歌いだす。

母、嬉しそうに二人を見る。

姉 (歌い終えて) なんか楽しくなってきた！  
妹 うん！

、姉妹、今度は踊りながら歌い始める。  
母親も加わり、声を出して一緒に歌う。  
三人ともとても楽しそうだ。

三人、歌い終わると大きく深呼吸。  
姉妹はふとベッドを見る。

姉 お母さん？

姉妹、異変を感じて誰もいないベッドに駆け寄る。  
母、パジャマを脱ぎ捨てると下には鮮やかな外出着。

姉妹 (誰もいないベッドにしがみついて) お母さん！お母さん！！

母、しばらく姉妹を見つめた後、大きな深呼吸をして軽やかに退場。

終